



# スターシップ バトル・アクション超大作

この映画における最大の挑戦は、“スタートレック”を  
全く知らない人が楽しめる映画の製作だった。

—監督：スチュアート・ベアード

今、アドベンチャーの舞台は、地球からアウター・スペース(宇宙)へ!

「ネメシス/S.T.X」は、旧TVシリーズが1966年に誕生して以来、36年の伝統を誇る“スタートレック”の映画化10周年記念作であり、7作目から始まったネクスト・ジェネレーション・シリーズの最終章である。そして長い歴史の中で、この作品は紛れもない最高の“スタートレック”だ。

だが、映画を見る前に知っておくべき、憶えておくべき約束事などは何も無い!!

大宇宙を舞台に、秘密メカ搭載のエンタープライズE型と、いかなる惑星をも滅ぼす最終兵器を武器にする敵艦“シミター”との、シリーズ最大級のド派手な宇宙戦闘シーン。砂漠の惑星でのカー・チェイス。新型アンドロイド<B-4>の登場。息つく暇もないアクションなど、この映画は全てにおいて“スタートレック”を超越し、1本の独立した作品としての存在感と完成度を見せつける。その巨大なスケールと圧倒的な面白さは、究極のSFエンターテインメントそのものなのである。

## クローンを制するものは、宇宙を制す!

<ネメシス>の謎を解き明かす、壮絶なバトルが始まる!

<ネメシス>とは、ギリシャ神話に登場する“復讐の女神”や“最強の敵”などの意味で知られるが、<ドッペルゲンガー=もう一人の自分>も指す。

今、惑星連邦を代表するエンタープライズ号のピカード艦長の前に最強の敵<シンゾン>が立ち上がった。そして彼こそ、ピカードのクローンだった! 冷静沈着なピカードの心を強く乱したのは、未知なる敵ではなく自分自身の暗黒面であった。一方、アンドロイドのデータの前にも彼のプロトタイプ(第一号)が出現し、データとは対照的にエンタープライズ号に破壊をもたらした。

ピカードとデータにとって自己の内なる悪魔との闘いが始まり、それは地球の運命をも左右する、恐ろしく巨大なものへと変貌していく。そして、彼らの混乱に乗じて、<シンゾン>が誇る究極の最終兵器が静かに作動し始めるのだった…。

最大のテーマとなるクローンを題材に、畳み掛ける編集でアクションを盛り上げる「エグゼクティブ・デジジョン」のスチュアート・ベアードを監督に迎えた他、脚本にはアカデミー賞脚本家「グラディエーター」のジョン・ローガン、また、「タイタニック」「T2」の迫力あるCGIで知られるデジタル・ドメインが参加するなど、新たなスタッフが驚異のスペース・ワールドを生み出した。そして、ここに過去の枠には決して収まりきらない、「スター・ウォーズ」に匹敵する驚異のSF映画が完成した!!

### STAFF

監督:スチュアート・ベアード「エグゼクティブ・デジジョン」  
脚本:ジョン・ローガン「グラディエーター」  
音楽:ジェリー・ゴールドスミス「LAコンフィデンシャル」  
VFX:デジタル・ドメイン「タイタニック」「ターミネーター2」

### CAST

ピカード艦長:パトリック・スチュワート「Xメン」 「陰謀のセオリー」  
データ:ブレント・スパイナー「インデペンデンス・デイ」  
シンゾン/トム・ハーディー「ブラックホーク・ダウン」  
ライカー副長:ジョナサン・フレイクス「ファースト・コンタクト」/STAR TREK/  
ガイナン:クービー・ゴールドバーグ「ゴースト/ニューヨークの幻」

www.uipjapan.com



2002年度作品/アメリカ映画/パラマウント映画提供/UIP配給

数島シネポップ

15.4.12

ロードショー